

1 日 時 令和6年11月26日(火)

2 出席者 委員5名、職員6名(校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・防災主任・防災副主任)
地域学校協働活動本部推進員2名、町教委3名 … 計16名

3 内 容

(1) 開 会

(2) 2学期の学校の様子【校長】

- ・ 児童の活躍の様子
- ・ 学校経営の数値目標(6項目)の達成状況

(3) 協議(熟議)「今年度の地域学校協働活動について」

- ① R5～7までの年次計画の進捗状況の確認
- ② これまでの活動の振り返りとこれからの活動の計画・準備

A 防災教育(危険回避能力の育成)班

目指す地域の力	地域住民が、門川小学校校区内のどこにいても、災害にあったときにどこに避難するか判断できる。
前期の取組	・門川小防災会議…8月21日(水) ・防災の日(門川神社への避難)…10月8日(火) ・図上訓練+集団下校(通学路の避難場所確認)…11月8日(金)
後期の取組	・下校時避難訓練…12月16日(月)



1 振り返り

- ・ 防災については、学校の動きが活発で良かった。
- ・ 防災マップづくりでは、地域の人を交えた交流が行われて良かった。また、互いの防災意識も高まった。
- ・ 防災マップづくりでは、地域の方々と交えて話し合ったことで、児童が危険箇所や避難経路などを積極的に考えることができた。
- ・ 4～6年生を中心に、防災意識を高めることができた。



2 これから【個々の委員の役割分担:「私は、この活動で何ができるか。」】

- ・ 地域住民の防災行事の参加をもっと増やしていきたい。
- ・ 大地震の際には、車で避難する人が多いことが予想されるため、町全体で避難の際には歩くことを啓発して行く必要がある。
- ・ 学校で行われている防災の取組が、地域の人や家族に広まるような取組が必要。
- ・ 次年度の下校時避難訓練では、大人の目を増やせば、分散下校が望ましいのではないか。子どもたちの考える機会にしていきたい。

B あいさつ(コミュニケーション力の育成)班

目指す地域の力	あいさつを通して地域の方が児童の顔を知る。
前期の取組	・第2回親子であいさつ登校…10月20日(日)運動会当日の朝
後期の取組	・第3回親子であいさつ登校…3月2日(月)～6日(金) ・あいさつの後に言葉をつなぐ、回覧板の手渡し運動 ・あいさつに関する思い出エピソード募集

1 振り返り

- ・ 親子あいさつ登校「感想」から…よくできているという面と、もう一つという面がある。まだ、道半ばととらえる。
- ・ 育成会に入っている児童とは、コミュニケーションが取れている。
- ・ 育成会が盛んな地区は、あいさつがよいのではないかと。
- ・ 親があいさつするところは、子どもも進んであいさつをする。親の影響は大きい。あいさつの躰ができている。



- ・ スポーツなどのクラブ(少年団)に入り、あいさつをどんどんさせるという方向はどうか。
- ・ 大人が学校のきまりを守るところは、あいさつの指導もしているだろう。
- ・ あいさつだけでなく、普段の何気ない会話が大切だろう。あいさつにつながっていく。

2 これから【個々の委員の役割分担:「私は、この活動で何ができるか。」】

- ・ 回覧板の手渡し運動を続けていきたい。(区長会で校長が依頼した。)
- ・ まずは、我々から率先してあいさつをしよう。
- ・ 顔を知っていると、反応がよい。あいさつもできるようになる。顔見知りになることが大切。
- ・ あいさつについて、言い慣れさせることが大切だろう。
- ・ 学校でのあいさつ運動も広げていきたい。

③ 全体協議

1 各班からの班別協議の報告

- あいさつ班
 - ・ 地区の規模や育成会の有無であいさつの状況に差がある。
 - ・ あいさつや声かけができていく児童が増えつつある。
 - ・ あいさつやルールを守る点などについて、スポーツ少年団の協力が得られるとよい。
 - ・ あいさつの輪が広がっている。
 - ・ 下納屋の敬老会では、手話の振り付けで児童が歌を発表してくれた。
 - ・ ラジオ体操の取組も、高齢者クラブが主導して実施するとよい。
- 防災教育班
 - ・ 児童から防災意識を地区住民へ広げていきたい。
 - ・ 来年度は分散下校で避難訓練を実施できるとよい。
 - ・ 8月8日の地震ではいくつかの問題点が生じた。門川町全体で防災意識が高めていきたい。
 - ・ 12月16日の避難訓練では、それぞれの立場で可能な参加の在り方で参加して欲しい。

2 質疑・協議

Q 一斉避難訓練の際、中学校PTA防災委員には役割があるようだが、小学校PTA地域安全委員は何か関わることができないだろうか。

A 一緒に避難するだけでもよいと思う。地域安全部にしてもらいたいことを防災教育班から依頼してほしい。

Q 児童クラブに向かっている際の訓練を、児童クラブと連携して行えるとよい。また、幼稚園や保育園にも取組が広がっていくとよいが。

A 既に栄が丘幼稚園で避難訓練を実践したことがあるが、連携がうまくいかなかった。

Q 先日の図上訓練で避難経路を決めたが、アクシデントが発生した際に経路の変更が可能であることを周知させた方がよいのでは。

A 直前の班長会で確認するようにしたい。

A 図上訓練の際には、ブロック塀が倒れることを想定している班もあった。

3 下校時避難訓練についての補足説明【防災主任(田中)】

- ・ 訓練の流れや避難場所の確認

4 その他【校長】

- ・ 地域人材による授業支援の状況
- ・ 地域との連携の双方向性
 - ⇒ 門川ならではのこんな体験をさせてあげたい…
 - ⇒ 近くにこんな人材もいるよ…
 - ⇒ 学校(授業)へこんな支援もできるのでは…
 - ⇒ 子どもたちと一緒にこんなことができるといい…
- ・ 現在の5年生の状況

(4) 学校評価報告書について【教頭】

- ・ 学校運営協議会委員によるコメントや評価点の記入方法
- ・ 記入期間

(5) 教育委員会より【黒木課長補佐】

(6) その他【校長】

- ・ 門川町善行児童生徒表彰の推薦について

(7) 閉会

